

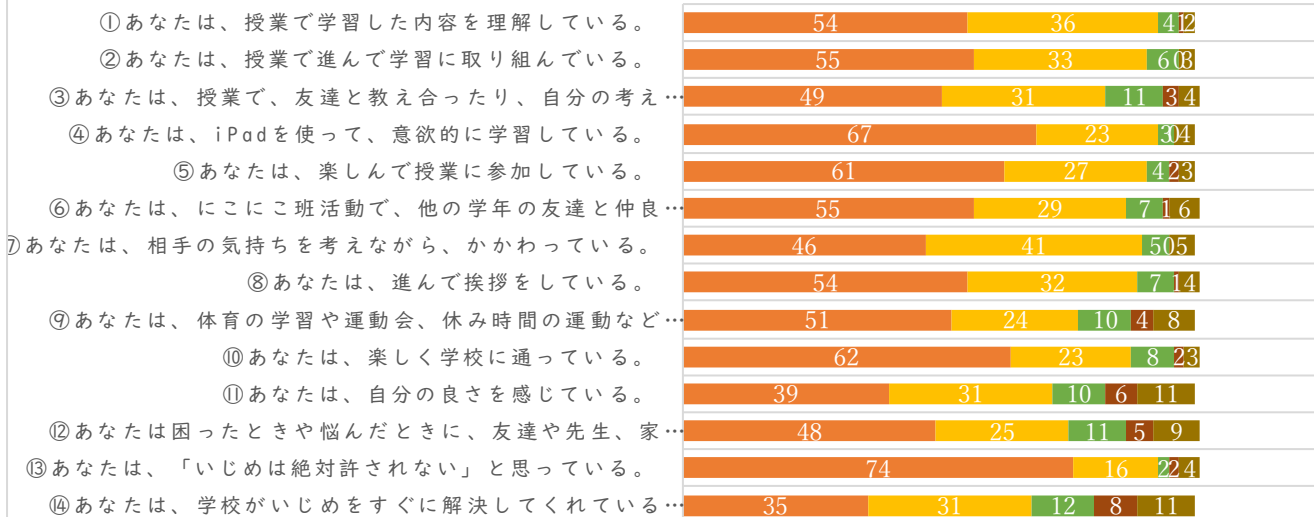


いつも本校の教育活動に、ご理解・ご協力いただき、誠にありがとうございます。前期が終わり、今年度も折り返し地点に入りました。先日ご協力いただいた学校評価の結果をもとに、さらによりよい学校づくりに励んでいきますので、引き続き温かいご支援のほど、よろしくお願いいたします。

令和5年度 学校評価アンケート 集計結果

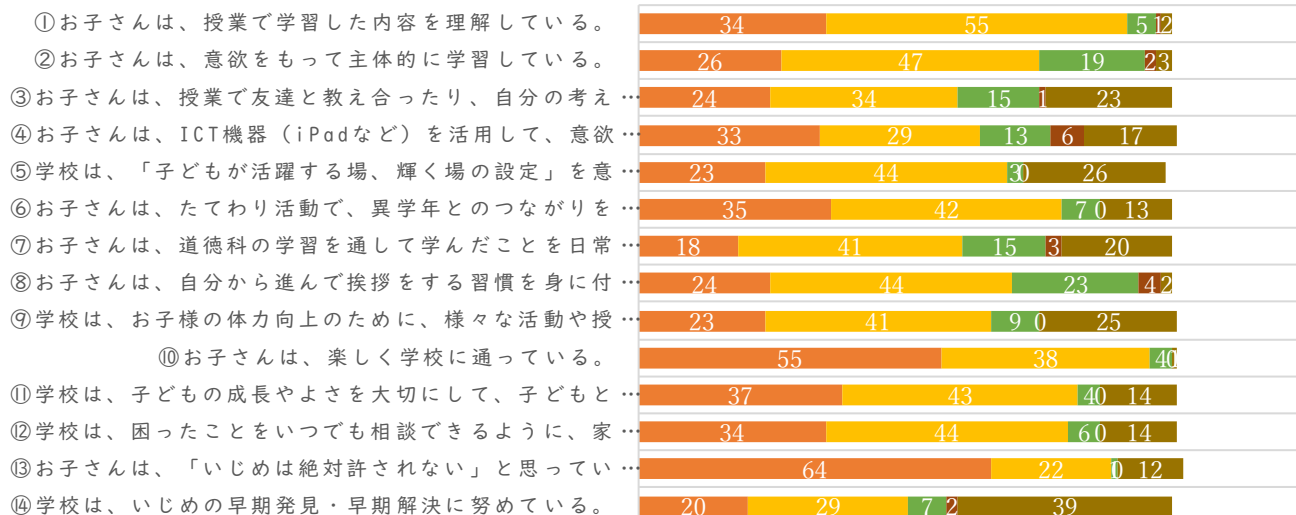
児童アンケート集計結果

■A：よくあてはまる ■B：ややあてはまる ■C：あまりあてはまらない ■D：あてはまらない ■E：わからない



保護者アンケート集計結果

■A：よくあてはまる ■B：ややあてはまる ■C：あまりあてはまらない ■D：あてはまらない ■E：わからない



①～⑭の結果の分析

【領域】生きてはたらく知①～⑤

① 授業で学習した内容を理解している

児童: 54% (A), 36% (B)

保護者: 34% (A), 55% (B)

児童・保護者ともに肯定的な回答を示していますが、児童の方が「よくあてはまる」(A)が高く、保護者は「ややあてはまる」(B)が高い傾向にあります。今後はより具体的な成果や理解度を可視化する方法を探っていきたいと考えています。

② 授業で進んで学習に取り組んでいる

児童が自らの学習に対する積極性を高く評価しているのに対し、保護者の評価はやや控えめでした。

③ 授業で友達と教え合ったり、自分の考えを説明したりしている

児童は8割が肯定的な回答を示していますが、保護者:23% (E)となっており、保護者の中には、子どもたちの協働学習の様子が伝わっていない部分も多いようです

④ ICT 機器 (主に iPad) を使って、意欲的に学習している

児童は9割が肯定的な回答を示していますが、保護者の肯定的な回答は6割程度です。児童は iPad を活用した学習に非常にポジティブであることが示されています。一方、保護者はやや控えめな評価となっています。

⑤ 楽しんで授業に参加している

児童: 61% (A), 27% (B)

保護者: 55% (A), 38% (B)

児童・保護者ともに肯定的な回答を示しています。AとBの割合も似ています。

【領域】豊かな心⑥～⑦

⑥ にこにこ班活動で、他の学年の友達と仲良く活動している

児童自身は他学年との交流をポジティブに捉えていますが、保護者の方がやや控えめな評価をしています。

⑦ 相手の気持ちを考えながら、かかわっている

児童は9割近くが肯定的な回答をしている一方で、保護者は6割程度にとどまっています。児童は相手の気持ちを尊重してコミュニケーションを取っていると感じているようですが、保護者の評価はやや控えめです。

【領域】健やかな体⑧～⑨

⑧ 進んで挨拶をしている

児童自身は挨拶を積極的にしていると感じていますが、保護者はやや控えめな評価をしています。

⑨ 体育の学習や運動会、休み時間の運動などで体力が高まった

児童は体育活動によって体力が増していると感じていますが、保護者の評価はやや低めです。

【領域】児童指導⑩～⑫

⑩ 楽しく学校に通っている

児童: 62% (A), 23% (B)

保護者: 55% (A), 38% (B)

児童が85%、保護者が93%肯定的な回答です。保護者の方が肯定的な回答をしています。

⑪ 自分の良さを感じている

児童: 39% (A), 31% (B)

保護者: 37% (A), 43% (B)

概ね児童と保護者の評価は近いです。肯定的な回答でまとめると、保護者の方が肯定的に捉えています。児童の肯定的な回答が7割となっており、低いです。

⑫ 困ったときや悩んだときに、友達や先生、家族に相談している

児童の約半数がAのあてはまると回答しています。

【領域】いじめへの対応⑬～⑭

⑬ 「いじめは絶対許されない」と思っている

児童: 74% (A), 16% (B)

保護者: 64% (A), 22% (B)

児童・保護者ともにいじめに対して強い否定感をもっています。

⑭ 学校がいじめをすぐに解決してくれている感じる

児童の肯定的な回答は7割近くに対して、保護者は5割程度となっています。また、保護者の4割が「分からない」と回答しています。

「学校運営についてご意見があれば、お書きください。」の項目では皆様から多数のご意見を頂戴しました。それぞれのご意見についてお答えになっていないかもしれませんが、学校運営の方針としてお読みください。

上の段

○(項目)

保護者の皆様のご意見

※ニュアンスが変わるおそれがあるため、基本的には原文のまま転記しております。

下の段

学校の考え方

○学校と保護者の連絡ツールについて

・先生方は、ケガや子ども同士の関係性における家庭への連絡などに、大変な苦勞をされていると感じています。ロイロノート、他のアプリなどが取り入れられており、複雑さを感じているのは否めません。ツールの一本化をしていただけるとありがたいです。

→ 現在、ロイロノートは出欠連絡・マチコミは学校からの連絡・スクリレはお便りの配信のために使用しております。それぞれ用途に応じて使用しておりますが、今後次年度に向けて保護者にとってなるべく負担のないような方法を検討していきたいと考えております。

○タブレットの使用について

- ・タブレットの自宅学習について、通信環境が各家庭依存となっており、十分な通信環境のない家庭との格差に繋がる可能性があり、あまり良い方法とは思えません。またタブレットの漢字の学習では綺麗に書けるようにはならないと思います。
- ・タブレットを使った授業が増えて、楽しい部分も増えているとは思いますが、漢字等、書いて定着させるというものをもう少し授業でも取り入れてほしいと思いました。
- ・タブレット持ち帰りは仕方ないですが 悪用します。制限かけてもすぐに 解除できるらしくかんりするのが大変。保護者にタブレット持ち帰りに関して困ったことや改善してほしいことアンケートしてほしいです。
- ・iPad の使用時間、内容について家庭で管理ができず困っている。スクリーンタイムを家庭で設定できるようにしてほしい。また、ノートと鉛筆を使って書くことを多く取り入れて欲しい。

→ 4～6年生の保護者の皆様にはタブレット端末の持ち帰りへのご協力ありがとうございます。現在、横浜市では全校でタブレット端末の持ち帰りを行っているわけではなく、試行校のみ行っています。そこでの取組の成果、課題を横浜市教育委員会で集約し、改善を図っている段階です。頂いた貴重なご意見は、取りまとめて伝えます。

スクリーンタイムのように管理する方法は、現状のシステムでは難しいとの回答を得ています。現状はセキュリティアプリをインストールし、インターネットは使用制限（午後9時～午前5時）を行っています。

授業内での取り組み方については、適宜書く活動も取り入れております。

ただ、タブレット端末を活用した学びは、前例がありませんので、どのようにすることが良いかを日々模索し研究している最中です。保護者の皆様には、子どもが将来どのような環境下で生きていくことになるのかという視点でも考えていただき、ご協力いただければ幸いです。

○不祥事について

- ・2,3 年前におきた教師に関する不祥事に対して、何の再発防止対策を行っているのかがわからないので、透明性をもって対応して信頼回復に努めていただきたい。当事者が卒業・教師が転勤などではなくなったことで、このことについての意識が希薄になっていると感じる。
- ・以前の事件後、学校内に隠しカメラがないかを継続的に確認していくお話があったと思います。今後とも継続して確認をお願いいたします。
- ・過去の事件の被害状況について、関わりのある保護者には教えていただきたいです。子供の耳には入れたくないです。

→ 保護者の皆様にはご心配をおかけしております。現在学校では、管理職が授業中に巡回することはもちろん、放課後にも施錠確認等を行いながら安全点検を行っています。カメラ等の設置については、案件発生後、業者を入れて調査をし、異常がないことを確認しております。本件について、教職員間では年度当初、風化することの無いように共有化を図り、新たな年度をスタートするようにしております。また、特別支援教育研修、人権研修、不祥事防止研修等、様々な研修実施することを通して、再発防止に努めております。今後とも再発防止に向けて、全力で取り組んでまいります。

なお、被害状況等に関しては、報道されている情報以外のことは分かりません。申し訳ありませんが、ご理解ください。

○懇談会の参加体制について

- ・授業参観後の学年懇親会が各学年同時進行で、姉弟いるので中途半端にしかお話を聞けておりません。大事なことを聞き漏らしていないか、若干気になっております。

→ 限られた時間の中での懇談会の実施にご協力ありがとうございます。実施の仕方は、保護者の皆様ができる限り参加しやすいように次年度に向けて検討を進めてまいります。

「こうなったらよいな」という願いがあれば、書きましょう。」の項目に自由記述をしました。

万騎 原小学校

すてきな 少ない もっともっと 言葉 喧嘩 思いやり 大切な できる さがない 学年 仲良し 盗む まき 元気な 越す がんばる 良い ひろい イジメ あえる 増える いい 挨拶 仲 優しい 皆んな せいかつ 協力 あいさつ いじめ ケンカ 楽しい けんか 児童 なくす はんのう くらす クラス 急ぐ 班 行事 笑顔 たのしい がる 暴言 遅い 思う 関わる 親切な こえる おちる いろいろな 悪口 平等な もうす なくなる へらす なかよい やさしい になれる

詳細にまとめると、以下の9つに分類できました。

- まきっ子は学校生活において「楽しさ」や「友達との関わり」を非常に大切にしていることが読み取れました。また、「いじめ」や「けんか」を無くすことにも強い願いがあり、ポジティブなコミュニケーションや、互いに助け合う雰囲気を大切にしていることも分かりました。さらには、学習環境や教育方法にも意見や提案をもっていました。こうしたまきっ子の声を大切にしながら学校運営をしていきたいと思います。